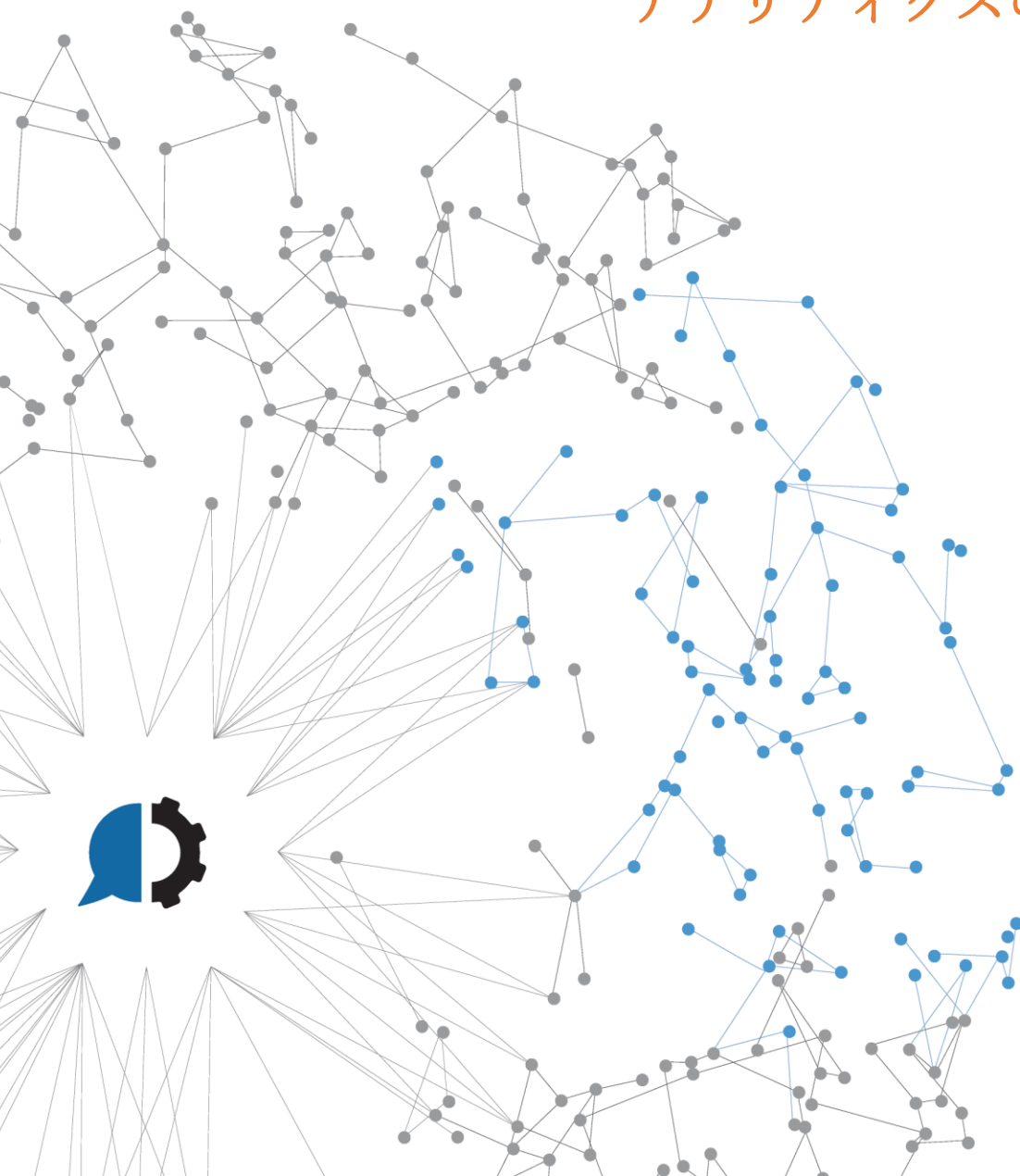




# HUBSPOT BOT

アナリティクスの要約を取得





## 内容

概要 .....	3
前提条件 .....	4
AUTOMATE タスクをインポートする方法 .....	6
HUBSPOT BOT – アナリティクスの要約を取得 を実行する方法 .....	7
付録 A – HUBSPOT ANALYTICS TOTALS EXCEL OUTPUT EXAMPLE AND EXPLANATION .....	9



## 概要

この How to ガイドでは、**HubSpot - アナリティクスの要約を取得**をご紹介します。繰り返しの多い手作業に貴重な時間とリソースを費やす代わりに、**AutoMate** に任せて、ロボットによるプロセスオートメーションで IT とビジネスプロセスを合理化しましょう。**AutoMate** は手作業を代行することで、繰り返しの作業を大幅に減らし、作業の品質と一貫性を向上させることができます。自動化されている主なプロセスは、レポート作成、ファイル移動、データのインポートとエクスポート、バッチ処理のスケジューリングです。

**HubSpot - アナリティクスの要約を取得**は、HubSpot REST API、特に [Analytics API](#) をベースにしています。このボットは、特定の期間（日、週、月）のアナリティクス値の合計を要求し、それらを要約して、結果を出力 Excel ファイルに動的に格納します（変数または列の数は HubSpot データに相対的です）。詳細については、「[前提条件](#)」と「[HubSpot - アナリティクスの要約を取得 の実行方法](#)」のセクションをよく確認してください。

**HUBSPOT BOT - 接続トークンの生成**も用意されており、このボットを動作させるためのトークンを簡単に作成することができます。トークンはデフォルトで6時間ごとに失効します。



## 前提条件

- **AutoMate:** Hubspot Bot が動作するためには、AutoMate ソフトウェアが必要です。最低限サポートされているバージョンは以下の通りです。
  - **AutoMate Ultimate 11.2**
  - **AutoMate Plus 11.2**
  - **AutoMate Desktop 11.2**
- **AutoMate Markup Language ファイル (.AML):** Hubspot Bot タスクのステップを含む、AutoMate で使用される主要なファイルタイプです。
- **HubSpot:** 必要となる最小要件は、以下の通りです。
  - **HubSpot REST API を有効にする:** デフォルトで有効になっています。
  - **HubSpot REST API – 接続されたアプリの作成、OAuth の有効化、トークンの生成:** HubSpot のドキュメントで、接続アプリケーションの作成方法をこの [リンク](#) で、OAuth の設定方法をこの [リンク](#) で確認できます。この手順では、このボットを動作させるために必要な接続トークンを取得することができます。なお、トークンはデフォルトで6時間ごとに期限が切れます。
  - **HubSpot 接続アプリケーションスコープ:** 接続アプリケーションの設定時に、必要なスコープを選択することが重要です。これにより、この AutoMate HubSpot ボットから **analytics API** を実行することが可能になります。



## Scopes i

reports X	business-intelligence X	oauth X	▼
REQUIRED PERMISSIONS		DETAILS	
Reports reports		This includes sources, page performance, keywords, assists, competitors, and events.	
Read from Business Intelligence API business-intelligence		This includes endpoints that sit on top of sources and email.	
Basic OAuth functionality oauth		The basic scope required for OAuth.	

- HubSpot の接続値を設定するために作成する AutoMate 定数:
    - `const_HubSpotURL`: HubSpot 接続用 URL 例: <https://api.hubapi.com>
    - `const_HubSpotToken`: 接続/リクエストを実行するための HubSpot トークン。トークンの値、またはトークンを含む .txt ファイルがあるパスを設定できます。例:  
C:\Automate\HubSpotToken.txt
- .txt ファイルを使用する場合、トークンは次のような形式/構造である必要があります。:

**`access_token:TokenString`**

例:

```
*HubSpotToken.txt - Notepad
File Edit Format View Help
access_token:CJjTq8yRLhIDhQEBGOjawnMgtLryBCjUkQ0yGQB3Tp1ctf6--AzTAL2v1N15cq
```

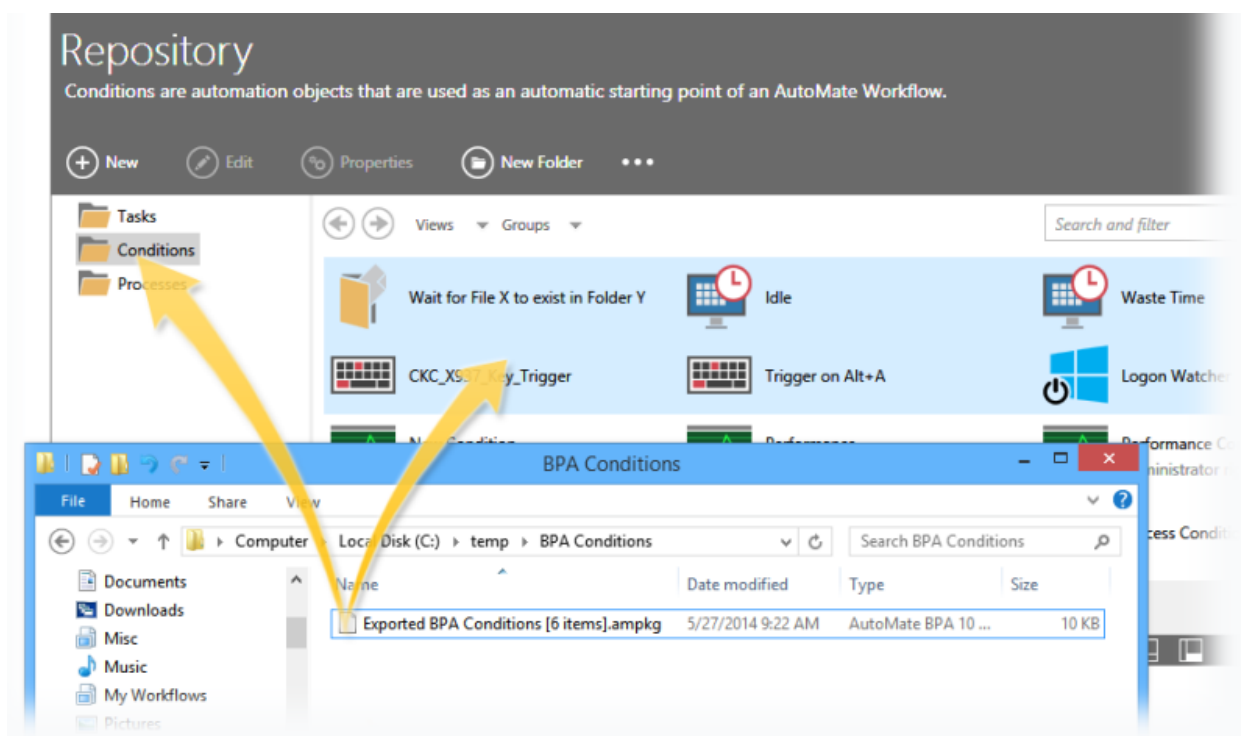


## AUTOMATE タスクをインポートする方法

互換性のあるファイル形式は、ドラッグ&ドロップでリポジトリに取り込むことができます。

サーバー管理コンソール(SMC)から、[リポジトリ]セクションに移動します。

目的のファイルを元の場所からドラッグして、SMC 内のフォルダにドロップします。ファイルは、フォルダーアイコンまたはメインパネルにドロップすることができます（下図参照）。インポートされたオブジェクトは、自動的に対応するリポジトリの場所に配置されます。



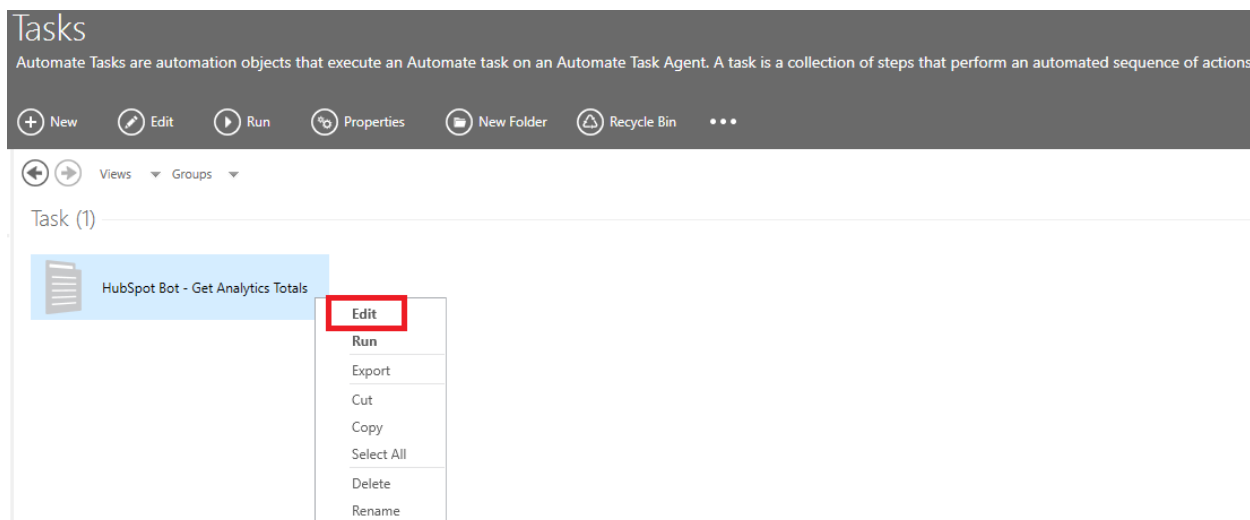


## HUBSPOT BOT – アナリティクスの要約を取得 を実行する方法

このタスクを初めて実行する場合、いくつかのパラメータを設定する必要があります。

サーバー管理コンソールを開き、インポートしたタスクを探します。

インポートしたタスクを右クリックし、編集を選択して編集します。



ステップ 4 からは、希望する出力に応じて次の変数を編集してください。

- **var\_SummarizeAnalytics:** 要約された値を要求するためのグループを表します。設定可能な項目: Monthly, Weekly, Daily
- **var\_IntervalCountBefore:** var\_SummarizeAnalytics で設定された値（月、週、日）に従って取得される間隔の数を表します。

変数に設定された値の組み合わせで、取得するデータに関連する様々な動作を得ることができます。

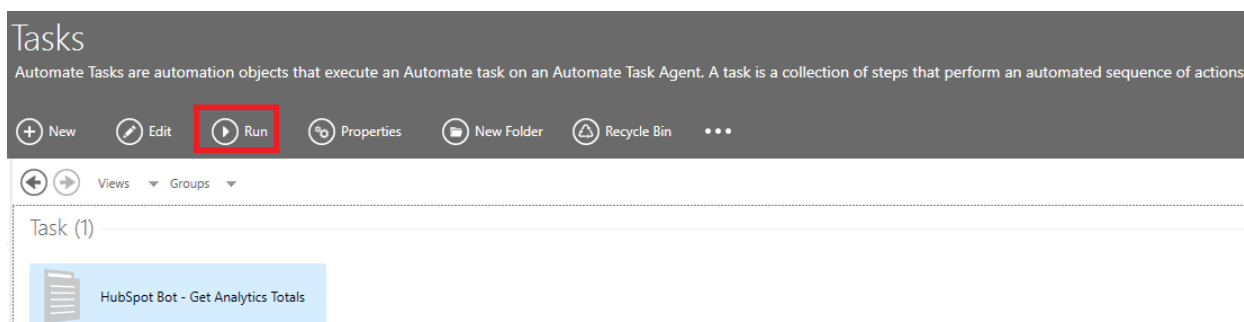
Bot は内部でリクエストの開始日と終了日を計算します。いくつか例を挙げます:

- **月別**に集計し、間隔を2に設定すると、過去62日間のデータが取得されます。出力される Excel の結果は2行になります。
- **週別**で集計し、間隔を4に設定すると、過去28日間のデータが得られます。出力される Excel の結果は4行になります。
- **日別**に集計し、間隔を7に設定すると、過去7日間のデータが得られます。出力される Excel の結果は7行になります。

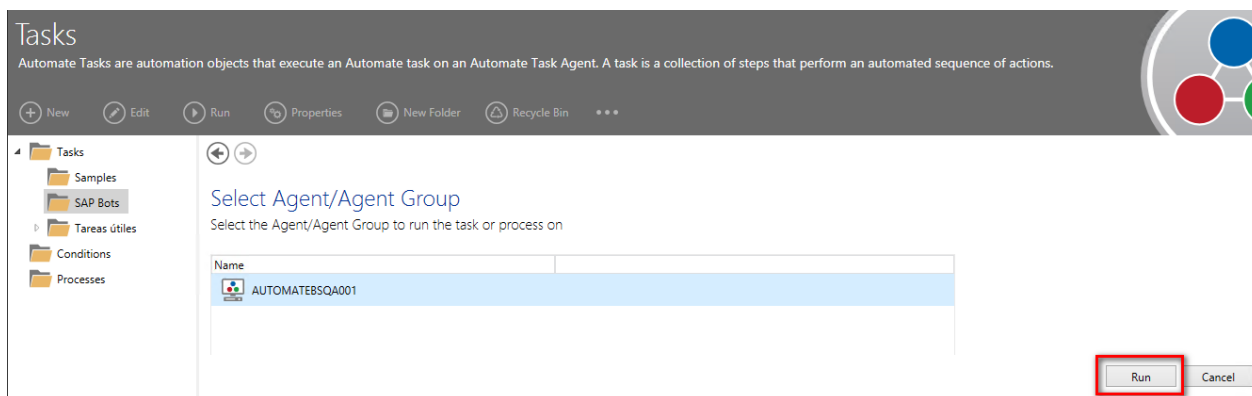


タスクを保存して閉じます。

タスクを選択し実行をクリックします。



Agent を選択し、再度「実行」をクリックします。







## 付録 A – HUBSPOT ANALYTICS TOTALS EXCEL OUTPUT EXAMPLE AND EXPLANATION

月別に集計し、区間数を1に設定した場合の結果を Excel ファイルに出力:

HubSpotAnalyticsTotal\_03262020\_045209.xlsx

A	B	C	D	E	F	G	H
AutoMate Bot - HubSpot Analytics Totals Report - Data from last 1 Month(s) and Monthly summarized.							
First day of Period (Day, Week or Month)	newVisitorSessionRate	contacts	leadsPerView	leads	pageviewsMinusExits	visitors	visits
3/1/20	0.9545454545454546	2	0.0625	2	32	21	22

ファイルの命名規則:

HubSpotAnalyticsTotal 基本のファイル名  
03262020 実行日を表す(ddMMyyyy)  
045209 実行時間を表す(Hmmss)

出力ファイルは、タスクフォルダーに作成されます: C:\AutoMate\Tasks\<<TASK NAME>>.

注: タイトル、カラムのヘッダーと値は、ボット構成で設定された構成パラメータと HubSpot から取得したデータに応じて動的に書き込まれます。

例:

設定されたタイトル: *AutoMate Bot - HubSpot Analytics Totals Report - Data from last 1 Month(s) and Monthly summarized.*

最初の列は、"期間 (日、週、月) の最初の日"の日付を表します。

列の数は、HubSpot の分析環境に存在する変数の量に依存します。

今回の場合: newVisitorSessionRate, contacts, leadsPerView, leads, pageviewsMinusExits, visitors, visits, pageviewsPerSession, sessionToContactRate, standardViews, rawViews, returningVisits and contactsPerPageview



## 付録B—トラブルシューティング

- ログ: ボットの各反復は、トラブルシューティングのためにログファイルを作成します。ログファイルは、C:\Automate\Tasks\<<TASK NAME>>の下にあります。デフォルトでは、タスク名は「*HubSpot Bot - Get Analytics Totals*」です。



[www.helpsystems.com](http://www.helpsystems.com)

### About HelpSystems

Organizations around the world rely on HelpSystems to make IT lives easier and keep business running smoothly. Our software and services monitor and Automate processes, encrypt and secure data, and provide easy access to the information people